



### 事業実施内容

ガーナ共和国において、今後成長が期待される農作物の加工・農園事業における、適切な農作業・農業資材の投入とトレーサビリティを高めた独自バリューチェーンの構築により、ソルガムきびの生産性改善及びフードバリューチェーン改善を実現し、小規模農家の所得向上を目指す。

将来的には、ソルガムの付加価値向上に向けた取り組みや信用スコアリングを活用した小規模農家へのファイナンスサービスなどを拡大し、農業市場全体の拡大への貢献を志向している。

ソルガムの小規模農家が抱える課題を解決するため、本事業ではこれまで弊社が実施してきたビジネスモデルをソルガム農家に向けカスタマイズし、ソルガム農家の収穫増加による収入向上と安定した供給量を実現することでガーナにおけるソルガム市場の拡大を図る。



### 事業成果

- 1) DFNのソルガム農家への展開においては、種類や育成環境、施肥や栽培方法を調査した。100名の農家での試験導入では天候による課題が発生し、収穫が少なかった際の対策も検討された。この経験を踏まえ、改善案を作成し、組織化と営農支援方法の実施が見込めるようになった。
- 2) ソルガム農家用のトレーサビリティサービスを開発し、農家や指導員が収穫プロセスを体験することでオペレーション方法を検証した。また、種子や肥料の保管、収穫物の管理、クリーニングやパッキング作業が可能かを確認するために倉庫をレンタルし、一連のプロセスが実行可能かを検証した。
- 3) 脱穀工程を検証し、脱穀機を用いることで収穫後1ヶ月以内に品質の劣化を防ぐことが可能になった。またソルガムきびの販売先候補との交渉を行った。

### 事業の進捗

事業期間内に明らかになった課題に対応した内容で再度農家とトライアルを実施している。具体的には肥料パッケージの配布時期の前倒しを含む栽培スケジュールの修正、及び天候を考慮した営農方法支援の改善を行っている。

システムの開発はほぼ完了している為、農家の支援によりフォーカスを当てて実施していく方針である。また主要な販売先の買取要件を把握できているので、実際に販売ができるように交渉を続けていく。これによりトウモロコシ事業に続く、第2の事業の柱を目指して事業を展開していく。

また中長期的には、ソルガムきびの加工方法についても検討し、エネルギーなど新たな形での販路の拡大を目指していく方針である。